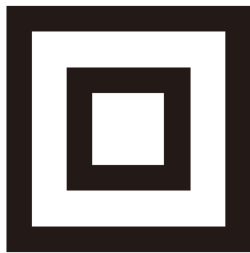


取扱説明書

防塵カッター

MC180A



二重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁を施した製品に表示されます。このマークが表示されている製品は、作業者を感電事故から守ることが出来ますので安心してご使用いただけます。このためアース（接地）はする必要がありません。

目次	項
1. 安全上の注意	2
2. 仕様	4
3. 各部の名称	4
4. 操作方法	5
4-1. 刃物の取り付け・取り外し	5
4-2. 作業台の用意	6
4-3. 切り込み深さ調整	7
4-4. 平行定規	7
5. 切断作業	8
5-1. 作業前の点検・準備	9
5-2. 操作について	9
5-3. 切断の方法	9
5-4. 切りくずの取り出し	10
6. 点検・整備	10
6-1. 刃物の点検	10
6-2. カーボンブラシの点検	11
6-3. 各部取り付けネジの点検	11
7. 故障時の対応	11


! 注意：安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつまでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

はじめに


このたびは、サンコーミタチの防塵カッターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行なってください。
- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付してください。
- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。
- この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

 **危険**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

 **注意**：取り扱いを誤ると、中程度の障害や軽症を負う可能性がある場合、及び物的損害が発生する可能性がある場合。

〈**注意**〉：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 「 **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1. 安全上の注意

⚠ 危険：けが

- 安全な服装で作業してください。ご使用の際、労働安全衛生法で安全靴、保護めがねの使用が義務付けられています。また、耐熱性のある手袋をしてご使用ください。軍手などの巻き込まれる恐れがある手袋は着用しないでください。
- 切断中は騒音が大きくなります。耳栓などを着用してご使用ください。
- ガソリン・シンナー・ベンジン・ガス・マッチなど引火しやすいものの近くでは作業しないでください。
- コンセントにプラグを差し込む前に、スイッチがOFFになっている事を確認してください。
- 刃物は正規に取り付けてあるか確認してください。また、必ず純正刃物をご使用ください。
- フランジボルトは必ず純正品をご使用ください。
- 刃物交換や点検・整備の際は、かならず電源プラグを抜いてから行なってください。
- 安定した姿勢で作業してください。刃物を上に向けて使用しないでください。
- 本機は両手でしっかりと持って作業してください。
- 運転中はもちろん、スイッチを切っても刃物は少しの間慣性で動きますので、動いている間は刃物には絶対に触れないで下さい。
- 刃物の交換時は、刃や周囲の部分が高温になっている場合があります。また、刃で手を切る恐れがありますので、必ず保護具を使用してください。
- 安全カバーを外したり、固定したままで使用しないで下さい。法令でも禁止されています。安全カバーが正常に動かない場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店、または最寄りのサンコーミタチサービスセンターに修理をお申し付けください。
- 運転中や、運転直後の本機の金属部や、切りくずは高温になっています。火傷の恐れがありますので、十分にご注意ください。
- 運転中は、回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。

⚠ 危険：感電

- 雨中や湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- コードは大切に扱ってください。無理な力をかけると、コードが損傷します。また、高熱のもの、刃物や油脂類にも触れさせないで下さい。

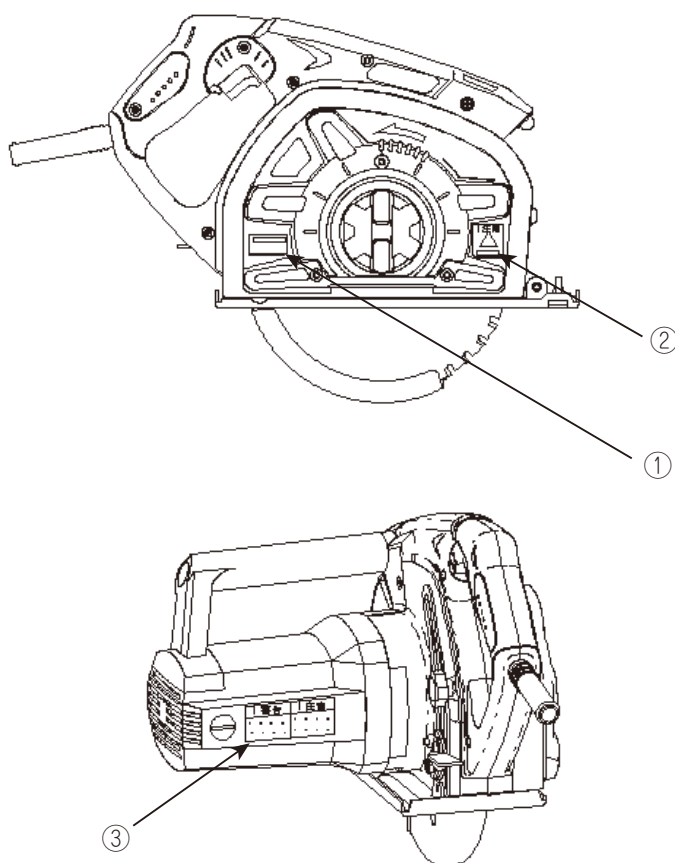
⚠ 注意：けが

- 家庭用電源100Vでご使用ください。

- 使用しない時は電源からプラグを抜いてください。点検・修理・刃物の交換・停電の際も同様です。また、不用意にスイッチを入れないで下さい。
- 刃物の交換は、本書の手順に従って確実にこなしてください。刃物を取り付けるときは、ひび割れ、歪み、振れ、チップ磨耗などが無い点検してください。
- ダストカバー、安全カバーなどの保護カバーは必ず正規に取り付けてください。
- 使用前には必ず試運転を行なって異常がないことを確認してください。このとき、刃物の延長線上に身体を置かないでください。
- 切断作業は刃物の回転が完全に上がってから行ってください。
- 切り込み深さ調整をする際は、デプスレバーなどに指を挟まれないように注意してください。
- 切断中に本機をひねったり、強く押しすぎないようにしてください。

■警告ラベル

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときには、新しいラベルに交換してください。ラベルの注文は、()内の品番で注文してください。



- ①危険：けが / 純正刃物使用 (品番：DPS5101-00A)
- ②危険：けが / 高温注意 (品番：DPS5100-00A)
- ③危険：けが / 保護めがね着用 (品番：DPS5102-00A)

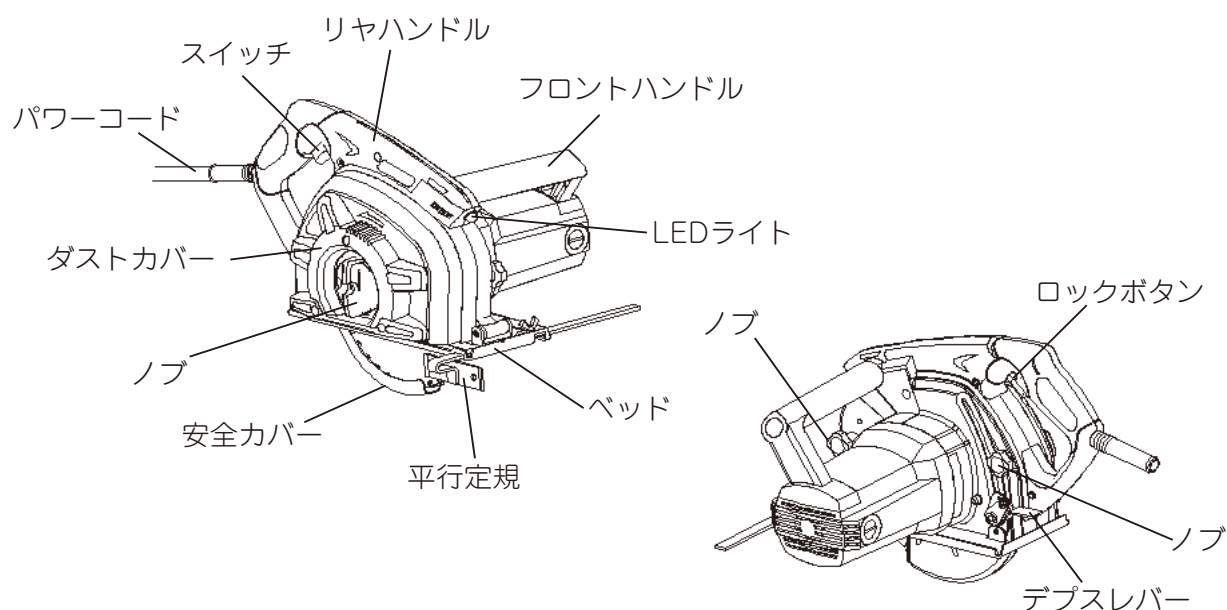
2. 仕様

モデル名	MC180A
定格電圧	100V
定格電流	14A
定格消費電力	1300W
無負荷刃物回転数	4300/min
時間定格	30分
減速機構	ヘリカルギア方式
最大切込深さ	60mm
外形寸法 L × W × H	325 × 272 × 267
重量	4.4kg(刃物・コードを除く)
使用可能ブレード(刃物)	外径180mm 厚さ2mm以下 穴径20mm
コード	2芯キャブタイヤケーブル5m

*仕様は予告なく変更することがあります。

標準付属品	メガネレンチ(22mm).....1
	ボックスレンチ(13mm).....1
	保護めがね.....1
	純正チップソー(BS-180M)(外径180mm×厚さ1.6mm×穴径20mm).....1

3. 各部の名称



4. 操作方法

4-1. 刃物の取り付け、取り外し

⚠ 危険：けが

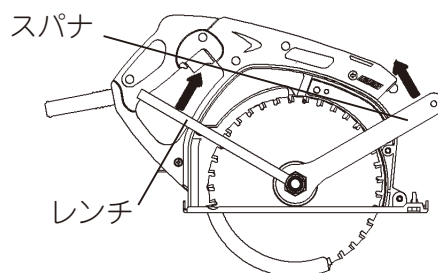
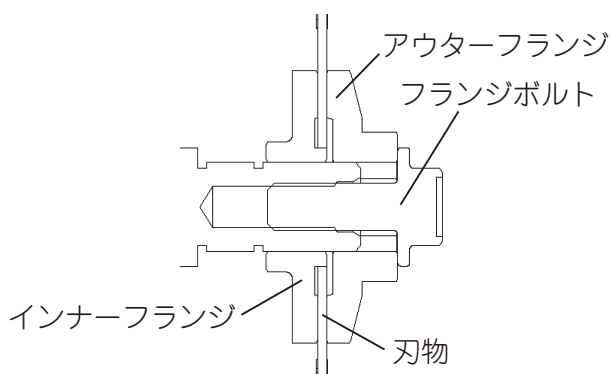
- 必ず純正刃物をご使用ください。
- フランジボルトは必ず純正品をご使用ください。
- 刃物交換や点検・整備の際は、かならず電源プラグを抜いてから行なってください。
- 運転中はもちろん、スイッチを切っても刃物は少しの間慣性で動きますので、動いている間は刃物には絶対に触れないで下さい。
- 刃物の交換時は、刃や周囲の部分が高温になっている場合があります。また、刃で手を切る恐れがありますので、必ず保護具を使用してください。

⚠ 注意：けが

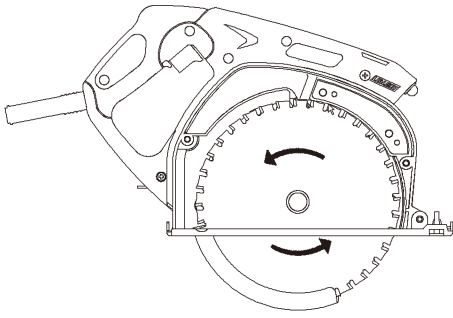
- 刃物の交換は、本書の手順に従って確実に行ってください。刃物を取り付けるときは、ひび割れ、歪み、振れ、チップ磨耗などが無い点検してください。
- 切り込み深さ調整をする際は、デプスレバーなどに指を挟まれないように注意してください。

(1) 取り付け

- 1 ノブ2本をゆるめ、ダストカバー（サイドカバー）を外してください。
- 2 主軸やインナー・アウターフランジ内、外側の当たり面に付着している切りくず、粉塵などをきれいに取り除いてください。
- 3 インナーフランジを主軸に入れます。そして刃物をセットして、その上からアウターフランジで押さえつけてください。
- 4 付属のスパナとレンチを使って、フランジボルトを確実に取り付けてください。

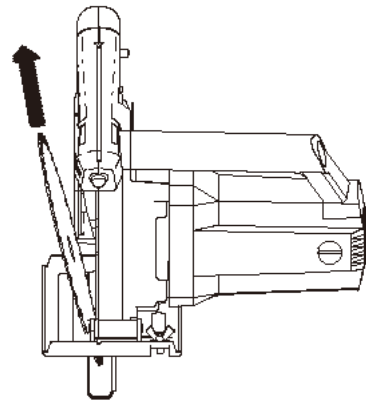


注) 刃物の回転方向は左図のようにセットします。



(2) 取り外し

- 1 付属のスパナとレンチを使って、フランジボルトをはずして下さい。レンチを左に回すとゆるみます。
- 2 アウターフランジを外し、刃物を矢印の方向へ持ち上げるようにして取り外して下さい。



4 - 2. 作業台の用意

切断する材料より刃物が下に出ますので、作業台から外れたところで切断して下さい。

作業台は必ず平坦な場所に固定して下さい。切断時は材料物が動かないようにバイス等で固定して下さい。

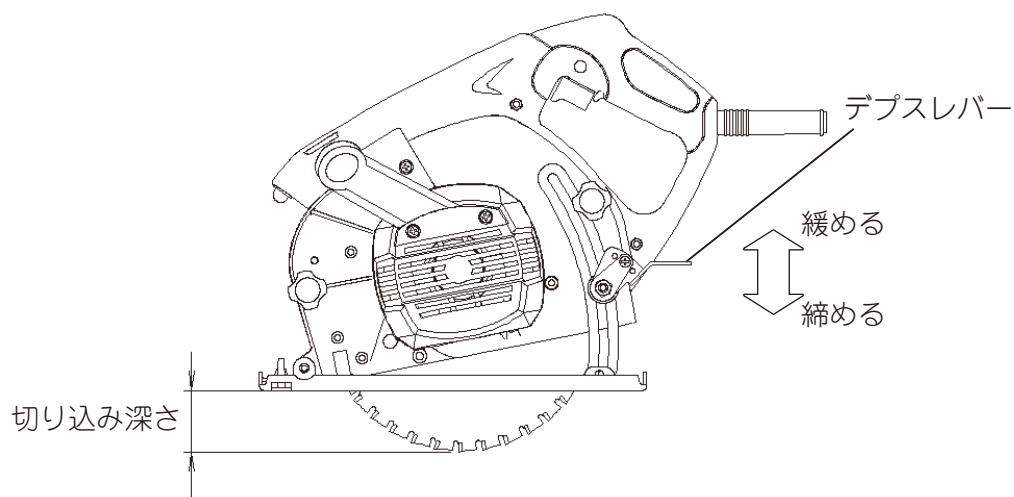
〈注意〉

- 切り残し側は必ず固定し、保持して下さい。

4 - 3. 切り込み深さ調整

本機は最大60mmまでの切り込み深さ調整が可能です。

デプスレバーを緩めて図のようにベッドを動かすと、切り込み深さの調整が出来ます。調整後はデプスレバーをしっかり締め付けてください。

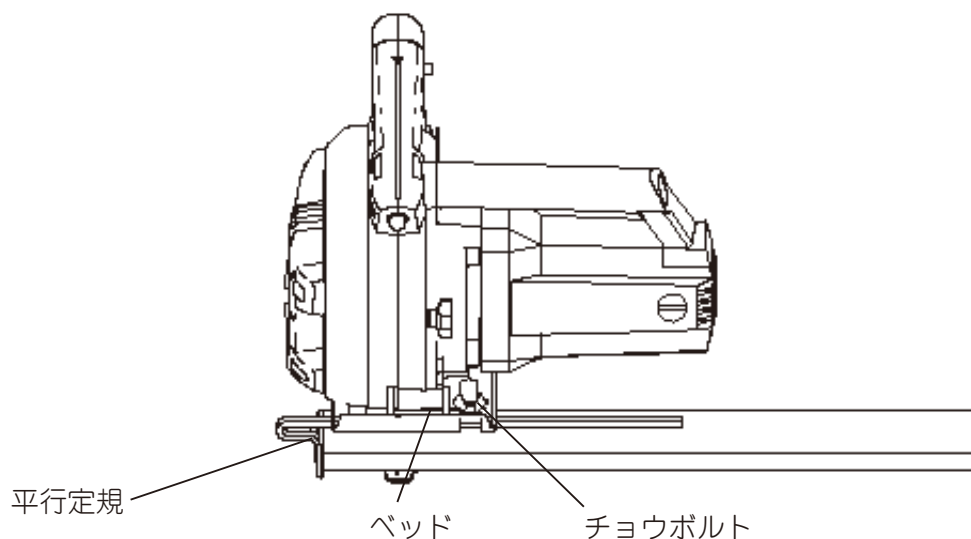


4 - 4. 平行定規

材料を平行に切断したり、一定の幅で切断を繰り返すときは平行定規を使用すると効率よく作業することが出来ます。

(使い方)

ベッドの前部の穴に付属の平行定規をさしこみ、材料の側面にピッタリ合わせ、切断位置を調整します。そしてチョウボルトで締め付けて定規を固定します。



5. 切断作業

⚠ 危険：けが

- 安全な服装で作業してください。ご使用の際、労働安全衛生法で安全靴、保護めがねの使用が義務付けられています。また、耐熱性のある手袋をしてご使用ください。軍手などの巻き込まれる恐れがある手袋は着用しないでください。
- 切断中は騒音が大きくなります。耳栓などを着用してご使用ください。
- ガソリン・シンナー・ベンジン・ガス・マッチなど引火しやすいものの近くでは作業しないでください。
- コンセントにプラグを差し込む前に、スイッチがOFFになっている事を確認してください。
- 刃物は正規に取り付けてあるか確認してください。また、必ず純正刃物をご使用ください。
- 安定した姿勢で作業してください。刃物を上に向けて使用しないでください。
- 本機は両手でしっかりと持って作業してください。
- 安全カバーを外したり、固定したままで使用しないで下さい。法令でも禁止されています。安全カバーが正常に動かない場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店、または最寄りのサンコーミタチサービスセンターに修理をお申し付けください。
- 運転中や、運転直後の本機の金属部や、切りくずは高温になっています。火傷の恐れがありますので、十分にご注意ください。
- 運転中は、回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。

⚠ 危険：感電

- 雨中や湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- コードは大切に扱ってください。無理な力をかけると、コードが損傷します。また、高熱のもの、刃物や油脂類にも触れさせないで下さい。

⚠ 注意：けが

- 家庭用電源100Vでご使用ください。
- 使用しない時は電源からプラグを抜いてください。点検・修理・刃物の交換・停電の際も同様です。また、不用意にスイッチを入れないで下さい。
- ダストカバー、安全カバーなどの保護カバーは必ず正規に取り付けてください。
- 使用前には必ず試運転を行なって異常がないことを確認してください。このとき、刃物の延長線上に身体を置かないでください。
- 切断作業は刃物の回転が完全に上がってから行なってください。
- 切断中に本機をひねったり、強く押しすぎないようにしてください。

5－1．作業前の点検・準備

刃物が正規に取り付けられているか、確認してください。

安全カバーがスムーズに動くことを確認してください。

ロックボタンが正常に動作・解除されるか確認してください。

ダストカバーが正規に取り付けてあるか、ノブの緩みがないか確認してください。

安全カバーは材料の切断に合わせて自動的に動き、刃物が身体に触れないようにするためのものです。危険ですので、安全カバーを外したり、固定したままで使用しないでください。法令でも禁止されています。

スイッチが切れていること、ロックボタンが解除されていることを確認した上で家庭用電源100Vの電源にプラグを差し込んでください。

5－2．操作について

スイッチを引くと、刃物が回転します。同時に罫書線照明用LEDライトが点灯します。

連続使用の場合

スイッチを引いたまま、ロックボタンを押すと、スイッチから指を離しても刃物は回転を続けます。停止は再度スイッチを引いてください。ロックボタンが解除され、スイッチから指を離すと止まります。

(本機は、スイッチを切ると同時に刃物が停止するブレーキ付です。)

5－3．切断方法

① 切断する材料の端に本機をのせて、ベッド先端の切り込みと ㊦ 穴にケガキ線を合わせてください。

② 刃物を切断する材料から離してスイッチを入れてください。そして刃物が高速回転になってから切断作業を開始します。(引き肌をきれいにするには、一定の速度でまっすぐに進めるのがコツです。)

③ 材料を途中まで切断する時はベッド側面部の切り込み穴に合わせてください。刃物の刃先の位置の確認が出来ます。(最大切込深さの場合)

5-4. 切りくずの取り出し

電源プラグを抜いてから作業を行なってください。

切りくずや周辺部分が高温になっている場合があります。必ず保護具（手袋）を着用して作業してください。

ダストカバーを固定しているノブを左に回してゆるめると、ダストカバーが取り外せます。内部に溜まった切りくずを取り出してください。

〈注意〉

- ダストカバー内部に切りくずが溜まりすぎると集塵性能が低下しますので、早めに取り出してください。
- 湿った材料を切断した後は、すぐに切りくずを取り出してください。湿った切りくずをそのままにしておくと、故障の原因になります。ただし、ダイヤモンドブレードによる注水切断はできません。

6. 点検・整備

⚠ 危険：けが

- 点検・整備時は電源プラグを抜いてから行なってください。
- 運転中はもちろん、スイッチを切っても刃物は少しの間慣性で動きますので、動いている間は刃物には絶対に触れないで下さい。
- 安全カバーを外したり、固定したままで使用しないで下さい。法令でも禁止されています。安全カバーが正常に動かない場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店、または最寄りのサンコーミタチサービスセンターに修理をお申し付けください。

⚠ 注意：けが

- 刃物の交換は、本書の手順に従って確実に行ってください。刃物を取り付けるときは、ひび割れ、歪み、振れ、チップ磨耗などが無いか点検してください。

6-1. 刃物の点検

切れ味が悪くなった刃物をそのまま使用していると、モーターに無理な力が加わるだけでなく、反発力を受けるので危険です。早めに研磨するか、交換してください。

6-2. カーボンブラシの点検

カーボンブラシの磨耗が大きくなるとモーター性能に大きく影響します。時々、左右のカーボンブラシを点検しましょう。磨耗限界に近付いたら早めに交換してください。また、点検のために取り外したカーボンブラシは元通りに差し込んでください。

〈注意〉

- カーボンブラシを交換する際は必ず純正品をご使用ください。

6-3. 各部取り付けネジの点検

各部取り付けネジがゆるんでいないか、定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら、締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと危険です。

7. 故障時の対応

原因 \ 現象	回転しない	振動が大きい	力が弱い	モーターの加熱	処置・対策
電源のブレーカの作動	○				電源ブレーカをリセットする
カーボンブラシの磨耗寿命	○				カーボンブラシを交換する
コードの断線	○				販売店、または サービスセンターで修理
スイッチの故障	○				
モーターの故障	○		○		
刃物の歪み		○			刃の調整または交換
刃物の磨耗		○	○	○	再研磨品か新品と交換
刃物のすべり			○		確実に締める
材料が湿っている			○		切断スピードをおとす
延長コードが長すぎる			○		適正容量のコードを使用
無理な使用				○	一定の速さでまっすぐ切断する

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

重要：本機は厳密な精度で製造されています。従いまして、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、または最寄りのサンコーミタチサービスセンターにお申し付けください。

お客様メモ
お買い上げの際、販売店名・製品に記載されている製造番号などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号
販売店 (TEL)				

サンコーミタチ株式会社

〒390-1243 長野県松本市神林7107-34（臨空工業団地）

TEL (0263)40-0600(代) FAX (0263)40-0622

ホームページ <http://www.sanko-mitachi.com>

* 製品および付属品は、改良のため仕様や外観を予告なしに変更することがあります。A